

## 医学部附属病院看護部初！ 株式会社資生堂との受託研究の成果が国際学術雑誌に掲載決定

がん治療に伴う外見変化に対し、化粧療法を用いて患者QOL※の向上をめざした株式会社資生堂との受託研究を実施



都道府県癌拠点病院  
癌の総合医療



美容教育関連事業の  
リーディングカンパニー

<https://corp.shiseido.com/seminar/jp/fabo/index.html>より

### 資生堂受託研究(前向き臨床介入比較研究)

研究課題名：化学療法の美容上の副作用に対する  
化粧療法によるがん患者のQOLの向上効果の検討  
研究期間： 2022年4月～2023年9月  
研究対象： 化学療法施行がん患者 20名

※ QOLとは  
Quality of life(生活の質)の略称  
生活や人生への満足度、幸福感  
にも関連する概念

1

## 国際学術雑誌掲載論文

### Effects of cosmetic therapy on cosmetic side effects of chemotherapy to improve the quality of life of cancer patient

がん患者の生活の質を向上させるための、化学療法に伴う美容上の副作用に対する化粧療法の効果

筆 者：畑中明子<sup>1</sup> 河野洋平<sup>2</sup> 上野広見<sup>1</sup> 狩生雅子<sup>1</sup> 矢幡彌奈<sup>1</sup> 村田美雪<sup>1</sup>  
藤原美香<sup>1</sup> 大亀かおる<sup>1</sup> 荒金郁代<sup>1</sup> 富松千保<sup>2</sup> 長澤由依子<sup>2</sup> 平塚孝宏<sup>2</sup>  
大津 智<sup>2</sup> 河野康志<sup>2</sup> 緒方正男<sup>2</sup> 波多野豊<sup>2</sup> 富永志津代<sup>1</sup> 猪股雅史<sup>2</sup>

1) 大分大学医学部附属病院 看護部

2) 大分大学医学部

掲載誌：Journal of Cancer Therapy



2

## 研究背景

### 外来治療環境の整備

社会生活を送りながらがん治療を受ける患者が増加

### 副作用による外見の変化

社会と接することで外見の変化を意識する機会が増加

### 患者のQOLへの影響

自尊感情の低下、社会生活や対人関係の変化

#### 化粧療法とは

皮膚の外見変化を伴う皮膚疾患に対して、スキンケア、専用化粧品を用いたカモフラージュ、もしくは化粧行為を通して患者のQOLの改善を目指した療法

化粧療法前



化粧療法後



## 研究方法

対象: 抗がん剤治療により脱毛、または皮膚色素沈着を生じた患者

化粧療法  
手技の習得

同意取得  
カウンセリング

化粧療法  
(1回目)

化粧療法  
(2回目)

指導後  
評価

- がん看護専門看護師の講習受講(資生堂美容技術者による)



- 看護師が主体
- 化粧療法の手技指導

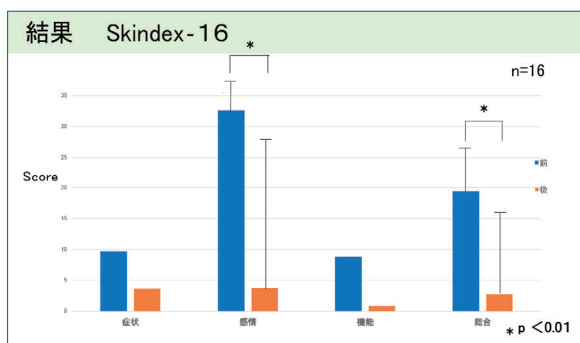


- 患者の実施状況を確認

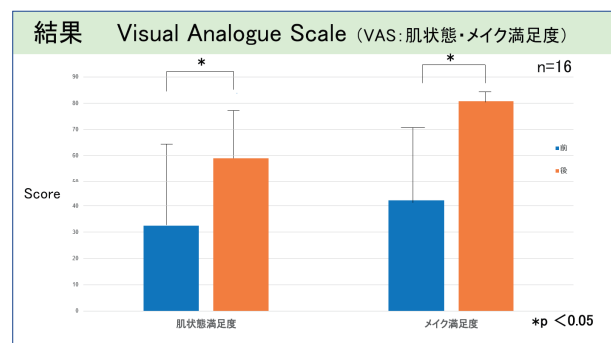
3

## 研究結果

研究登録対象: 20名 有効性解析対象者: 16名



化粧療法の前後で感情スコアと総合スコアが有意に改善



化粧療法の前後で肌状態満足度とメイク満足度が有意に改善

## 本研究成果の意義

化粧療法に関するエビデンスが国際的に発信され、がん患者のルックスケア向上を期待

4